

糖尿病代謝内科

糖尿病・在宅医療・摂食嚥下・認知症など



谷合久憲(科長・糖尿病専門医・内科認定医

・認知症ケア専門士・摂食嚥下実技認定

草野孝一郎(後期研修医)

診療内容（外来）

- 糖尿病：境界型から透析患者まで
特に透析予防と合併症（脳梗塞・心筋梗塞）
予防に力を入れています。
- 在宅医療：認知症、癌、褥瘡、摂食嚥下障害、
在宅看取りにも対応
特に在宅NST、摂食嚥下、口腔ケアに力を入れています。
- 施設医療：看取り対応の特別養護老人ホームの
管理をしています。肺炎0、下剤0、向精神薬
0、転倒0を目標にしています。

診療内容（入院）

糖尿病：高血糖や低血糖の急性期対応

糖尿病や腎症の教育入院

肺炎、脱水、摂食嚥下障害等高齢者医療全般

高齢者のADL低下を抑制し持っている機能できるだけ使って頂けるよう対応しています。摂食嚥下障害に注意し誤嚥性肺炎等の合併症を抑制し早期退院（平均在日数7日）を目標とします。摂食嚥下障害については最後まで口から食べることを目標に、胃ろうから経口摂取への移行にもtryします。

研修内容

地域中核の急性期病院にしながら糖尿病や高齢者疾患の経験をするとともに在宅医療や施設医療（看取り）を経験することができます。また院外での他職種との交流や市民を対象とした勉強会（行政と協同）やワールドカフェ、糖尿病デイなどのイベントの企画も経験することができます。豊富な糖尿病症例を勉強し、将来的に在宅医療や行政との予防医療など病院外での活動を考えている方にはぴったりの環境です。

